

拠出金名：アジア欧州財団(ASEF)拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(外務省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				12,686千円	
国際機関等名	アジア欧州財団(ASEF) (英文名称・略称) Asia-Europe Foundation (ASEF)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省欧州局アジア欧州協力室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	5,290	47		1米ドル= 113円	0.0
平成19年度	3,697,329	31,874		1米ドル= 116円	99.9
平成18年度	8,667	78		1米ドル= 111円	0.0
当該拠出金の目的・用途等	ASEFの実施する各種事業(新型インフルエンザ対策、各種セミナー等)				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの。任意及び義務的拠出の合計額。)				国際機関等の財政 (2007年度決算)(シンガポール・ドル)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	7,491,004
1位	欧州委員会	1,439	26.0	当該年度の支出	7,209,895
2位	フランス	328	5.9	次年度への繰越	18,784,131
3位	ルクセンブルク	294	5.3	会計検査機関名	
4位	ドイツ	288	5.2	Ernst & Young 社	
5位	デンマーク	262	4.7		
(2008年(注)、日本は16位、拠出率2.0%)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ASEFは、ASEMの唯一の常設機関として、ASEMの第3の柱(社会、文化、教育その他)においてアジア・欧州間の相互理解を促進する重要な役割を果たしている。我が国からの拠出金は事務局運営経費及びイマークされた事業の経費とされ、日本からの理事1名を含む理事会及び我が国の承認を得た上で、適切に執行されている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
ASEFでは、現在、2008年11月に就任した新しい事務局長の下、部門間で類似の事業を統合する等合理化の努力が行われているほか、人事・組織面での機能強化も図られている。また、財政運営及び今後の事業方針等については、日本からの理事1名を含む理事会執行委員会が精査し、合理的かつ効果的な財団運営に努めている。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人(2009年6月から) うち 0人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	49人 2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
我が国の拠出金事業である新型インフルエンザ対策事業の円滑な実施のため配置された邦人職員のポストが、今後も維持されるよう支援していく考え。					

(注)ASEFの会計年度は暦年となっている。